

**第39回埼玉西部地区少年サッカー育成大会**  
**大会実施要項**

- |    |       |  |
|----|-------|--|
| 1  | 目 的   | サッカー競技を通して少年の心身を鍛え、フェアプレーの精神を養うと共に、埼玉西部地区少年サッカーの普及とレベルアップをはかる。   |
| 2  | 主 催   | 埼玉西部地区少年サッカー連絡協議会  |
| 3  | 後 援   | 株式会社 住協  |
| 4  | 期 日   | 平成28年8月20・21・27日（予備日28日）   |
| 5  | 参加資格  | 平成28年度（公財）埼玉県サッカー協会、埼玉県スポーツ少年団に加盟登録した団体であること また当該団体の選手であること  |
| 6  | 参加条件  | ・大会に参加する団体は、その所属する選手を必ずスポーツ安全保険に加入させていること<br>・参加チームごとに同行できる審判員がいること  |
| 7  | 会 場   | Aクラスー入間市                      Bクラスー鶴ヶ島市<br>Cクラスー坂戸市                      Dクラスー川越市  |
| 8  | 試合方法  | トーナメント・リーグ戦（別紙組合せ表参照）とする。<br>試合人数は8人制とする。  |
| 9  | 試合時間  | A・B・Cクラス 20分ハーフ      Dクラス15分ハーフ  |
| 10 | 同点の場合 | トーナメント戦はPK戦とする。ただし、準決勝・決勝戦は5分ハーフの延長戦を1回行い、なお、決しない場合はPK戦により決する。<br>なお、フレンドマッチの場合は、PK戦は行わない。<br>リーグ戦は次により順位を決定する。<br>(1) 勝ち点の多い順（勝ち点は勝者3点・引き分け1点・敗者0点）<br>(2) 得失点差の多い順<br>(3) 得点の多い順<br>(4) 両チームの勝者<br>(5) なお決しないで必要がある場合は、PK戦により決する。                                      |
| 11 | 選手登録  | （公財）日本サッカー協会第4種の登録にかかわらず、チーム内の選手の中から20名をエントリーすることができる。   |
| 12 | 選手交替  | メンバー表に記載された選手の中で自由な交代を認める。   |
| 13 | 使用球   | 4号球とし、両チーム持ち寄り主審が決定する。   |
| 14 | 服 装   | 衣類に金属類はつけない。スパイクはポイント固定式の危険のないものとする。※会場によりその他制限を受けるものもある。  |
| 15 | 競技規則  | 次の(1)から(4)の他は、日本サッカー協会競技規則2015/2016による。<br>(1) 1チーム6名以上8名以下の競技者によって行い、競技者のうち1名はゴールキーパーとする。<br>(2) 競技のフィールドは、長さ68m、幅50mを標準とし、クラス・実施会場により、フィールドサイズを縮小する場合がある。<br>(3) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。<br>(4) 天候により競技時間内に、クォーリングブレイクを実施する。 |
| 16 | 表 彰   | 優勝以下第3位までを表彰する。  |

## 第39回埼玉西部地区少年サッカー育成大会確認事項

- 1 代表者および参加チーム義務事項
  - ① 参加チームの責任者は、第一試合開始30分前までに集合し、全試合終了まで会場運営に協力する。 **※別途、会場単位の指示を履行すること。**
  - ② 審判員は有資格者とし、担当する試合の開始10分前に審判服を着用の上本部前に集合し打合せを行い、義務を履行すること。 **※審判証の提示を義務付ける。**
- 2 メンバー表の提出とユニフォーム確認について
  - ① 選手氏名は、交代選手を含めフルネームで記入すること。
  - ② 先発選手を記して試合開始30分前までに本部に**1部提出**のこと。
  - ③ F P / G Kとも登録された正副両方のユニフォームを試合開始30分前までに持参して、主審または会場責任者が確認し、試合前に指示されたユニフォームを着用する。
  - ④ ベンチに入れる者は、メンバー表に記載された選手と役員指導者5名以内とする。
- 3 **選手交代について**

メンバー表にある選手は、その範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。

  - ① 主審の承認を得ることなく、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。
  - ② ゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審の承認を得て行う。
- 4 ベンチへ入る指導者は、少年年代の指導者としてふさわしい態度・言動（指示）で臨むこと。（喫煙・携帯電話の使用・カメラの使用・審判服着用での着席は禁止とする。）（戦術的指示を伝えることができるのは、テクニカルエリア内でその都度1名とする。）
- 5 不正行為により退場（退席）を命じられた選手（指導者）は次の1試合を出場停止とする。また、警告については累積2回の場合についても同様とする。
- 6 天候その他の事由により試合途中で中断した場合、再開後の試合時間は規定の試合時間の残り時間とする。なお、再開については、会場責任者の指示による。
- 7 試合中の会場付近でのボールの使用は禁止する。その他会場責任者の指示による。
- 8 参加チームの責任者は会場に来たとき、および帰るときは本部で受付けをすること。
- 9 煙草の吸殻・缶瓶等のゴミは、各チームで責任を持って持ち帰ること。
- 10 車は最小限にすると共に、路上駐車等近隣住民、会場責任者等の迷惑にならないよう心掛けること。
- 11 大会参加チームの指導者は、棄権するときは、事前に対戦相手、会場責任者に連絡するなど大会の運営に協力すること。（審判については履行すること。）
- 12 上記事項は参加チームの責任において厳守するものとし、運営上会場責任者に迷惑をかけないようにすること。上記事項が守れないチームは理事会において懲罰について審議する。
- 13 雨天の場合は会場責任者に確認すること。

☆以上のことについて参加される関係者・保護者に周知徹底してください。